

平成21年9月 全国百貨店売上高概況



平成21年10月19日

I. 概況

1. 売上高総額	4,762億円余
2. 前年同月比	-7.8% (店舗数調整後/19か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 270店 (平成21年8月対比-1社1店)
4. 総店舗面積	6,621,490㎡ (前年同月比:-2.5%)
5. 総従業員数	99,756人 (前年同月比:-1.3%)
6. 3か月移動平均値	2-4月 -12.0%、3-5月 -12.3%、4-6月 -10.8%、 5-7月 -11.0%、6-8月 -9.9%、7-9月 -9.7%

[参考] 平成20年9月の売上高増減率は-4.7% (店舗数調整後)

【9月売上の特徴】

19か月連続の前年同月比マイナスであるが、減少幅は2か月連続で縮小した。

9月は、引き続き雇用不安や所得環境の悪化、また内需不振によるデフレの進行などが重なり、高額品を中心に依然として厳しい商況であったが、地方都市の一部において下げ止まりの傾向が見られたほか、値頃商材の拡大や催事の強化など各店の対策効果が下支えたこともあって、売上減少幅は前月(8月/-8.8%)比で1.0ポイント改善する結果となった。

具体的な動向としては、業績低迷による法人需要の減退から外商など非店頭売上が不調であったこと、食品売上やセール比率の増加によって客単価が低下していることなどマイナス要素が見られた一方、5連休となったシルバーウィークは好天にも恵まれ来店客数に大きく寄与したこと、地方物産展やプロ野球優勝セールなどの各種催事が概ね活況であったこと、主力の衣料品分野でも単価ダウンの中で買上件数には復調の兆しが見られること、改装や新ブランド導入が奏功した店があることなどがプラス要素として報告されている。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「9月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 全国的に高気圧に覆われ晴れる日が多く、日照時間が多かった。低気圧の発達はなく、秋雨前線の活動が弱かったため全国的に降水量が少なかった。気温は北日本で低く、東日本と西日本では平年並みだった。

(2) 営業日数増減 29.8日 (前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日 (" +1日/祝日1日増)

(4) 来店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 22店、②変化なし: 18店、③減少した: 100店、④不明: 46店

(5) 9月歳時記 (敬老の日、秋分の日/お彼岸) の売上 (同上)

①増加した: 9店、②変化なし: 22店、③減少した: 53店、④不明: 102店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 6店、②変化なし: 38店、③減少する: 79店、④不明: 63店

全国百貨店 売上高速報 2009年09月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全国	476,293,423	100.0	-7.8 (-9.1)
10都市	307,800,797	64.6	-7.9 (-9.4)
札幌	14,247,009	3.0	-0.4 (-3.7)
仙台	6,615,848	1.4	-1.2
東京	117,224,245	24.6	-10.5 (-11.6)
横浜	26,565,602	5.6	-6.4 (-9.8)
名古屋	28,406,948	6.0	-9.9
京都	19,292,250	4.1	-6.1
大阪	57,688,672	12.1	-6.4 (-10.1)
神戸	13,351,668	2.8	-6.0
広島	10,981,009	2.3	-7.7
福岡	13,427,546	2.8	-3.2
10都市以外の地区	168,492,626	35.4	-7.8 (-8.6)
北海道	3,208,005	0.7	3.5 (-14.7)
東北	9,318,230	2.0	-11.7
関東	82,947,678	17.4	-8.8
中部	12,946,990	2.7	-6.9
近畿	15,126,460	3.2	-8.9
中国	11,261,503	2.4	-8.6 (-2.2)
四国	8,666,198	1.8	-5.1 (-9.9)
九州	25,017,562	5.3	-4.8 (-8.7)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	476,293,423	100.0	-7.8 (-9.1)
紳士服・洋品	28,832,350	6.1	-11.6 (-12.4)
婦人服・洋品	118,904,461	25.0	-10.3 (-11.4)
子供服・洋品	10,931,495	2.3	-8.9 (-9.3)
その他衣料品	13,597,479	2.9	-11.0 (-11.8)
衣 料 品	172,265,785	36.2	-10.5 (-11.5)
身のまわり品	62,797,519	13.2	-9.2 (-10.8)
化粧品	28,169,638	5.9	-3.3 (-4.2)
美術・宝飾・貴金属	22,980,197	4.8	-16.0 (-18.7)
その他雑貨	20,498,715	4.3	-8.0 (-9.8)
雑 貨	71,648,550	15.0	-9.0 (-10.9)
家 具	6,514,418	1.4	-14.2 (-14.9)
家 電	1,724,261	0.4	1.9 (0.3)
その他家庭用品	15,842,425	3.3	-5.5 (-7.0)
家 庭 用 品	24,081,104	5.1	-7.6 (-8.8)
生 鮮 食 品	26,587,370	5.6	-4.7 (-5.7)
菓 子	29,355,160	6.2	0.5 (-0.6)
惣 菜	26,375,642	5.5	-7.2 (-7.9)
その他食料品	34,942,064	7.3	0.6 (-1.1)
食 料 品	117,260,236	24.6	-2.5 (-3.6)
食 堂 喫 茶	14,391,413	3.0	-6.8 (-8.2)
サ ー ビ ス	5,368,581	1.1	-2.3 (-4.0)
そ の 他	8,480,235	1.8	-7.9 (-9.0)
商 品 券	12,771,833	2.7	-9.3 (-10.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | | | |
|------------------|-------|----------|---|-------------|
| 1. 10都市売上動向 | -7.9% | (店舗数調整後) | / | 19か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -7.8% | (") | / | 27か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-7.9	-5.1	19か月連続マイナス
札幌	-0.4	0.0	13か月連続マイナス
仙台	-1.2	0.0	17か月連続マイナス
東京	-10.5	-2.7	19か月連続マイナス
横浜	-6.4	-0.4	14か月連続マイナス
名古屋	-9.9	-0.6	22か月連続マイナス
京都	-6.1	-0.2	13か月連続マイナス
大阪	-6.4	-0.8	19か月連続マイナス
神戸	-6.0	-0.2	18か月連続マイナス
広島	-7.7	-0.2	19か月連続マイナス
福岡	-3.2	-0.1	14か月連続マイナス
10都市以外の地区	-7.8	-2.8	27か月連続マイナス
北海道	3.5	0.0	4か月連続プラス*
東北	-11.7	-0.2	18か月連続マイナス*
関東	-8.8	-1.5	27か月連続マイナス
中部	-6.9	-0.2	18か月連続マイナス
近畿	-8.9	-0.3	18か月連続マイナス
中国	-8.6	-0.2	16か月連続マイナス*
四国	-5.1	-0.1	27か月連続マイナス
九州	-4.8	-0.2	25か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、8か月連続で全品目がマイナスとなった。しかし、5品目とも先月よりはマイナス幅を縮める結果となった。また、菓子とその他食料品が8か月ぶりにプラスとなり、家電も2か月連続プラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-7.8	—	19か月連続マイナス
紳士服・洋品	-11.6	-0.7	18か月連続マイナス
婦人服・洋品	-10.3	-2.6	27か月連続マイナス
子供服・洋品	-8.9	-0.2	13か月連続マイナス
その他衣料品	-11.0	-0.3	19か月連続マイナス
衣料品	-10.5	-3.9	27か月連続マイナス
身のまわり品	-9.2	-1.2	25か月連続マイナス
化粧品	-3.3	-0.2	10か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-16.0	-0.8	31か月連続マイナス*
その他雑貨	-8.0	-0.3	22か月連続マイナス*
雑貨	-9.0	-1.4	19か月連続マイナス
家具	-14.2	-0.2	22か月連続マイナス
家電	1.9	0.0	2か月連続プラス
その他家庭用品	-5.5	-0.2	19か月連続マイナス
家庭用品	-7.6	-0.4	22か月連続マイナス
生鮮食品	-4.7	-0.3	8か月連続マイナス*
菓子	0.5	0.0	8か月ぶりプラス*
惣菜	-7.2	-0.4	16か月連続マイナス*
その他食料品	0.6	0.0	8か月ぶりプラス*
食料品	-2.5	-0.6	8か月連続マイナス
食堂喫茶	-6.8	-0.2	14か月連続マイナス
サービス	-2.3	0.0	6か月連続マイナス
その他	-7.9	-0.1	13か月ぶりマイナス
商品券	-9.3	-0.3	27か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>